愛媛県グループホーム連絡協議会

西条市　石鎚連峰

広報誌

Vol.9
発行日 2009.1

ほっと笑顔

愛媛県グループホーム連絡協議会
ＴＥＬ：０８９－９８９－２５５０
ＦＡＸ：０８９－９８９－２５５７

〒７９０－００５６
松山市土居田町２３－５　烏谷ビル２Ｆ
Ｅ－mail:ehime.gh@aioros.ocn.ne.jp

新春のご挨拶

平成21年の新春を迎え、謹んでお祝いを申し上げます。

昨年は10月26日県民文化会館にて第５回四国交流フォーラム「もっと身近なグループホームに！」をテーマに開催することが出来ました。参加者455名、ご家族、利用者、運営推進会議の委員の方、地域の皆様の参加もあり「地域の方々と共に語り合える場」が提供できました。会員の皆様のご支援、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

さて20年度は、激変の年でした。アメリカのサブプライムローンの崩壊を発端に株の暴落、円の高騰、ガソリン高、政治不安、年金問題等今までに類のない荒廃した一年となりました。本年度は介護報酬改定で厚生労働省は介護職員の厳しい勤務状態を是正しサービスの質向上につなげる案を示しています。同時に介護職員による痰の吸引、経管栄養の対応についても前向きに検討しているようです。グループホームを取り巻く状況もめまぐるしく変化することでしょう。

今後とも会員の皆様と共に一致団結をして「認知症の人が住み慣れた地域で尊厳ある暮らし」が出来るよう支援していきたいと思っています。

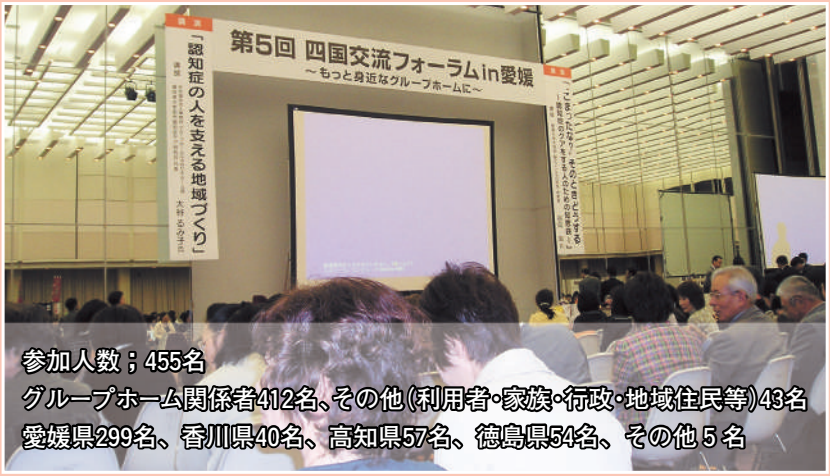
最後に新春にあたり、皆様方にとりましても、本年も希望に満ちた輝かしい年でありますようご健勝、ご多幸を祈念申し上げまして年頭のご挨拶と致します。

愛媛県グループホーム連絡協議会　会長　入船　啓一

特集

第５回 四国交流フォーラム in 愛媛

「もっと身近なグループホームに」



参加人数；455名
グループホーム関係者412名、その他（利用者・家族・行政・地域住民等）43名
愛媛県299名、香川県40名、高知県57名、徳島県54名、その他５名

平成16年、愛媛県からスタートした四国交流フォーラムが４年の歳月を経て一巡し、再び愛媛が開催地となりました。今回は、四国四県のグループホーム関係者はもちろん、ご利用者やそのご家族、運営推進会議に参加されている地域や行政の人たちなどさまざまな人たちが集い、学び、交流できる場にしたいと、工夫を凝らしました。

【基調講演】　「こまったな？その時どうする ～認知症の人をケアする人のための知恵袋～」

講師　愛媛大学　大学院　脳とこころの医学　准教授　**谷 向 知** 氏

■アルツハイマーとはどんな病気？

症状は記憶障害、見当識障害が中心で進行性ですが、基本的に神経・身体症状は病気が進行するまでみられません。脳の中では、老人班や神経原繊維変化が生じ、神経細胞が減少します。

✎ 日常生活機能の障害は認知機能の低下によるものです。“できること”“できないこと”を細かく観察し、“できない”“危険が予測できる”部分は、段階に応じて声かけ、準備、指示、見守りを行いましょう。

特に、“できないこと”には、必要な部分だけを介助することが大切で、介助のし過ぎは残存機能の低下につながります。

■ピック病・前頭側頭型認知症とはどんな病気？

症状は、著しく病識がないことや行動のパターン化（常同行動）、やろうとしていることを静止することが困難などの特徴が見られ、記憶障害は激しくないが言葉の理解が阻害されていることがあり、考え不精や物忘れと見誤られていることが多い進行性の病気です。

✎ 常同行動、脱抑制的行動（周囲への迷惑を顧みずにわが道をいく行動）などの異常行動が高頻度に出現し、これらの症状は制止することが困難で、制止すると怒りだすことがあります。周囲に迷惑となる常同行動が生じる前に、安全で周囲に影響の少ない常同行動を誘導してつくったり、修正が困難な場合は周囲の環境を整えることが必要です。

■レビー小体型認知症とはどんな病気？

認知機能の変動が激しく、視覚認知障害（ものの見え方がおかしい）、幻視、パーキンソン症状（身体が硬くなる、震え等）がみられ、ごく少量の抗精神病薬でも副作用が生じ、症状の悪化や転倒を招く恐れがあります。

■認知症介護のポイント

認知症の方の行動に困ったときどうするか…。まず、現状をできるだけ正確に把握すること。感情的にならず、「あわてるな、落ち着け」、そして「どうして？（何か原因や理由があるはず）」と、情報を収集しましょう。認知症の方の介護は、病状に応じて行うことが必要です。そのポイントを川柳に詠んでみました。

『そら急げ　アルツハイマーは　戻れない』

アルツハイマー病の方は、目的を忘れたり、空間認知が低下しているので外に出かけると自宅に戻れません。

『あわてるな　ピック病は　道に迷わない』

ピック病の方は、状況に関係なく出かけ同じコースを辿るので戻って来ることができます。（周回）

『知恵袋　笑顔のタネは　そこにある』

みなさん現場の方は、認知症の方に対する経験や知識を持っておられます。その方の生活歴や性格、診断に応じた対応を工夫しながら、その方の様子を見守り、変化を見逃さず、一人で抱え込まず、みんなで知恵をしぼって出し合い、実践しましょう。

▲ポスター・セッション

▲相談コーナー

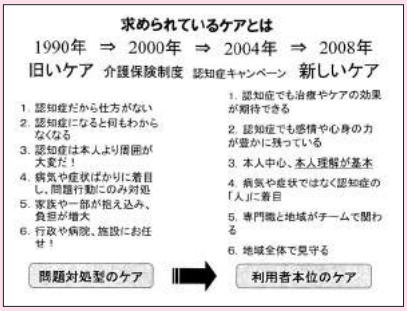
各コーナーのブースは大盛況。
たくさんの笑顔や賑わいがありました。

▼川柳コーナー

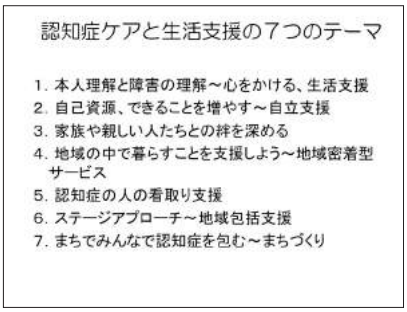
▲思い出横丁・昭和初期コーナー

【特別講演】　「認知症の人を支える地域づくり」

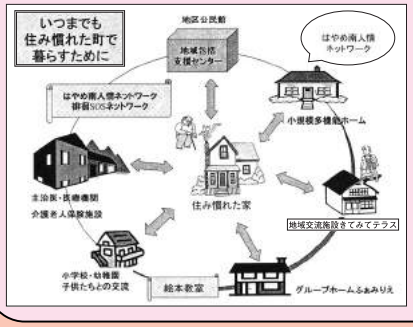
講師　社会福祉法人東翔会　グループホームふぁみりえ　ホーム長
福岡県大牟田市認知症ケア研究会代表　**大谷　るみ子** 氏



　認知症という病気がもたらす障害をしっかり理解して受け止めたい、そしてその障害に手当てして、生活支援をきちんとやっていきたいと思っています。そのためには、認知症の人の心の理解、“寄り添う”ということが重要なことで、私は「心をかけるケア」と呼んでいます。このことが現場でしっかりできていることが重要だと思っています。
　認知症の方は、親しい人の関係をつなげていくこと、新しい関係をつくっていくこと、また地域の中でなじみの関係を継続していくことが困難な状態になるなどの関係性の障害や、自分だけでは自分の存在を保てない、それを人にゆだねざるを得ないという障害が生じているんだと思います。生活支援なくしてグループホームケアはありません。生活支援の決め手は、「わかる」「選べる」「決める」「自分でできるだけできる」ということ、できないことでもできるだけやり遂げられるように支援すること、そして期待感、存在感、幸福感を感じることができることだと思います。



　「認知症のために私に何が起こっているのか、どんな気持ちで暮らしているのかわかってほしい」「わたしは私として生きていきたい」「どんな支えが必要か、まず私たちに聞いてほしい」「できないことで“だめだ”と決め付けないでほしい」…。これらは認知症の人の言葉です。私たちは、その人の心や声に耳を傾けることが大切です。認知症が進行するとできないことが増えてきますが、できなくなったからといっても「私」は「私」なんです。周りからは見えにくく、わかりにくくなっていくご本人の願いにも目を向けていくことが大事なことです。
　また、認知症のステージによって本人が抱える障害が変化していくことや、治療や医療との連携によって、症状を軽くしたり暮らしやすくしたりできるということを知っておくこと、そして、踏み込めないご本人の思いや姿があることも理解しながら支援していくことが大切です。家族や親しい人との絆を深めることも大切です。家族とともに過ごす時間や身近に感じられるように手紙や電話などの支援、祝い事や仏事に参加するなど親しい人のことを思い出せる支援などにより、その人の奥にある大事な絆を感じる時間を持つことが大事です。



　大牟田市では「まちでみんなで認知症をつつむ」取り組みを子供からお年寄りまで地域のさまざまな人たちともに積み重ねています。そのきっかけとなったのはグループホーム従事者の小さな集まりからでした。現在は市全体で「まちづくり」の一環としてさまざまな活動が展開されています。
　運営推進会議が開催されることでグループホームが地域とつながるようになりました。施設の中だけではなく地域とつながって暮らしていけるよう、またともに地域の中で暮らしていくために、地域のさまざまな資源を私たち自身で掘り起こし、ネットワークをつくっていきましょう。

■ポスター・セッション

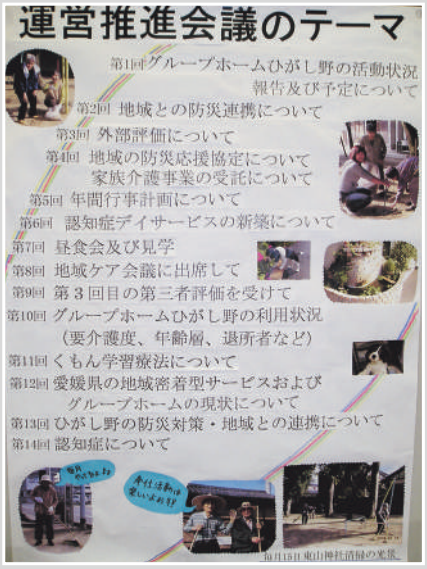
【テーマ】①運営推進会議の取り組み　②生活支援の取り組み

地域の中のグループホームとしての役割

【愛媛県】グループホーム ひがし野

地域の方から何でも相談をもちかけていただいたり声かけしていただけるようになりたいという強い思いが職員一丸となった運営推進会議の取り組みが続いている結果です。

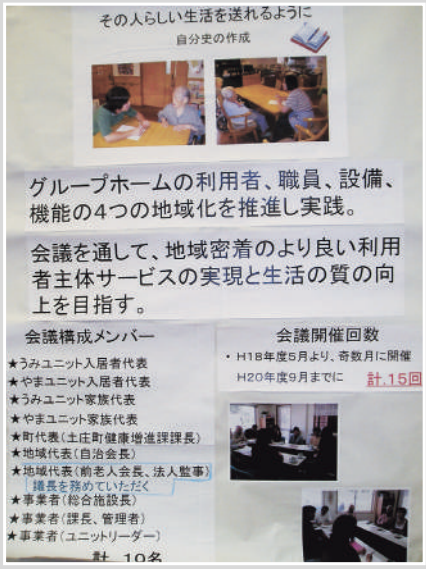
【継続は力なり】今後も理念の通り「誠心誠意」心から真心を尽くしていきたい。



その人らしい生活を送れるように―自分史の作成―

【香川県】グループホーム 北のおひさま

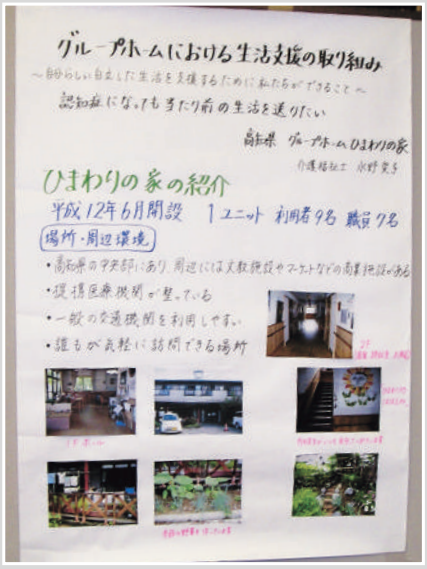
グループホーム利用者の地域化～幼稚園、小学校、自治会、老人会行事等の参加。
職員の地域化～地域清掃、認知症ケア講師、在宅介護研修会開催
設備の地域化～災害相互応援協定（災害時に地域の人達に施設開放）
機能の地域化～こどもＳＯＳ、認知症に対する理解推進。



グループホームにおける生活支援の取り組み

【高知県】グループホーム ひまわりの家

認知症になっても当たり前の生活を送る為、自ら生活の中に役割や出番を作り人の役に立つという感情が芽生え積極的な声と行動が起きてきた。



笑顔を取り戻すために

【徳島県】グループホーム ひなたぼっこ

利用者一人ひとりに充実した生活を送っていただくために、生活暦が重要になります。

これを踏まえて役割作りを見出し生き生きと生きがいを持った生活ができ笑顔をとりもどすことになった。

■介護川柳コーナー

川柳の投稿、ありがとうございました。フォーラム開催中、コーナーに掲示しましたが、多くの方が立ち止まって見てくださいました。見事、四賞に選ばれた方には各県の名産物を、佳作に選ばれた方には景品を贈呈しました。

●愛媛県賞

「また来るわ！！」　股とは言わず
身体ごと

●香川県賞

「おはよう」の　笑顔・朝迎えて
ほっとする

●徳島県賞

「肥えとんなぁ」　一分おきに　指摘する

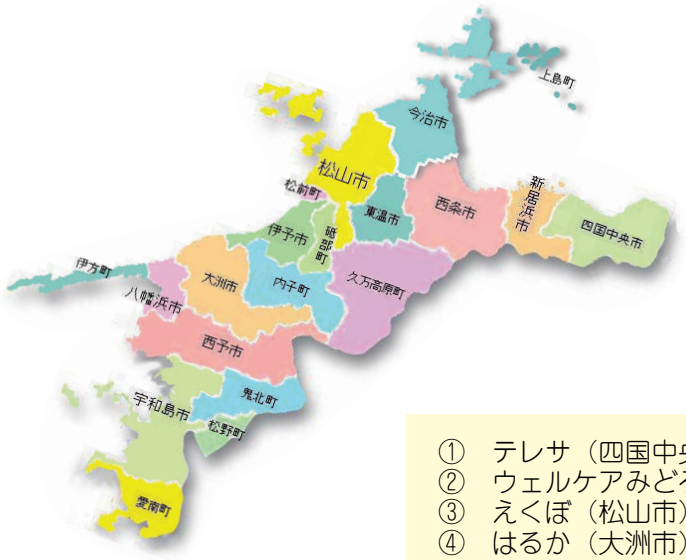
●高知県賞

「ええとこやね」　そんなに言うなら
お前が入れ

●佳　作

- 家恋し　笑顔の奥の　淋しさよ
- 認知症　どちらが職員　利用者か
- 認知症の　母は幸せと　嫁は言い
- 九十年　鍛えた毒気に　当てられて
- 帰りたい　家に帰っても　帰りたい
- 大喧嘩　スタッフヒヤヒヤ　本人ケロリ
- 家恋し　笑顔の奥の　淋しさよ
- 「帰らないかんのに」　足がもつれて　追いつかれ
- 介護する人、される人　同じ年で　話に花が咲く
- ありがとうの　言葉の重みに　支えられ
ともに歩く　深夜の廊下の散歩道

県内グループホームの紹介



① テレサ（四国中央市）
② ウェルケアみどろ（松山市）
③ えくぼ（松山市）
④ はるか（大洲市）
⑤ かぐや姫（西予市）
⑥ しおさい（新居浜市）
⑦ 朝生田の里（松山市）
⑧ シオンの家（久万高原町）
⑨ 里の家（松山市）
⑩ とみひさ（松山市）
⑪ おてだま（新居浜市）
⑫ ぐるうぷほうむ54番地（松山市）
⑬ 桜（新居浜市）
⑭ わかば（松山市）
⑮ 土香里（伊予市）
⑯ むく（松山市）
⑰ 鶴翠（西条市）

① テレサ（四国中央市） 2ユニット18名

遠くに法皇山脈を望み、田畑に囲まれた穏やかなところにあるテレサは、開設して4年目になります。「テレサの目指す暮らし」を実現のため「笑」の一文字を胸にご利用者、ご家族、スタッフ皆がいつも笑顔で過ごせるようにと頑張っています。ゆったりと流れる時間のなかで、「テレサの目指す暮らし」を追いかけていきます。

医療法人　慶尚会
〒799－0724　四国中央市土居町蕪崎167
電　話：0896－74－7677
ＦＡＸ：0896－74－7671

② ウェルケアみどろ（松山市） 2ユニット18名

現在グループホームみどろには、18名の入居者さんが生活しています。季節ごとの外出行事や地域のお祭りに参加したり、生き生きした生活をしています。
ぜひ一度、お立ち寄り下さい。

社会福祉法人　喜久寿
〒791－0244
松山市水泥町132番地1
電　話：089－905－9116
ＦＡＸ：089－905－9117

③　えくぼ（松山市）　2ユニット18名

たいへんのどかな環境に恵まれて、ヤギとメダカとカメと一緒に生活しています。当ホームの前には広い畑があり季節の野菜を栽培しています。利用者の皆さんと収穫祭を行い、それが食卓にのぼります。建物は平屋作りになっており、“新聞かしてぇ～”“遊びに来たよお～”“こないだ借りたお皿、ありがとっ”等自由に行き来しております。『のびのびとした生活の場所』をモットーに、多様な年齢層の職員と利用者さんで毎日楽しくワイワイ､ガヤガヤと生活しています。ぜひ一度､遊びにお越しください!!

有限会社　スリー・ジー・ピー
〒791－8012　松山市西長戸町440
電　話：089－911－0365　ＦＡＸ：089－911－0353

④　はるか（大洲市）　1ユニット9名

「グループホームはるか」は平成16年5月に開設致しました。木造平屋建ての我が家は、白壁に囲まれ玄関を入ると、木の温もりを感じ落ち着きます。いつの頃からか「伊予の小京都」と呼ばれている水の都大洲。自然いっぱいに囲まれた環境と温かい地域の方々のやさしさにふれあいながら、利用者が安心して「自分らしい暮らし」ができるよう家族のご協力をいただきながら、「よい言葉・よい笑顔・よい心」をモットーにスタッフも家族の一人として共に暮らしたいと思っています。

社会福祉法人　三善会
〒795－0046　大洲市春賀甲1666－1
電　話：0893－26－1165　ＦＡＸ：0893－26－1165

⑤　かぐや姫（西予市）　2ユニット18名

“信頼のこころ”

西予市野村町の中心地にある「かぐや姫」は、併設にデイサービスがあり、自由に利用しながら生活の中に楽しみを見つけ、通所者（利用者）との交流を図っています。また、敷地内には母体である井関整形外科医院があり、近くにはスーパーもある安心できる便利な施設です。入居者の笑顔がいつも見られるようにスタッフ一同一丸となって“信頼のこころ”を目指して頑張っています。

医療法人　竹林院
〒797－1212　西予市野村町野村11－95－1
電　話：0894－72－3802
ＦＡＸ：0894－72－3809

⑥　しおさい（新居浜市）　2ユニット18名

平成16年11月に開設しました。建物はコの字形の平屋建てで、真ん中には中庭があり、畑で野菜作りを楽しんだり、各季節の行事を行ったりしています。今年5年目を迎えましたが、『その人らしく　ゆっくり　ゆったり　いつも笑顔で』の理念のもと、職員と入居者様がともに助け合い、いつも笑顔の絶えないホーム作りを目指して頑張っています。

有限会社　ミキハウス
〒792－0895
新居浜市阿島一丁目7番27号
電　話：0897－46－4050
ＦＡＸ：0897－46－4052

⑦　朝生田の里（松山市）　2ユニット18名

グループホーム朝生田の里は、北側には石手川公園、南側に少し下ると南環状線と立地的にも恵まれた所にあります。入居者のほとんどの方が透析をされており、食事や水分制限のある中で少しでも楽しく過ごして頂けるように、三つの理念「尊厳の保持」「自立支援」「地域との密着」に基づき、職員一同取りくんでいます。

医療法人　佐藤循環器科内科
〒790－0952
松山市朝生田町4丁目10－25
電　話：089－998－3344
ＦＡＸ：089－998－3380

⑧　シオンの家（久万高原町）　1ユニット9名

四季折々の自然豊かな山々に囲まれた久万高原町の高台に位置する民家改修型のグループホームです。「自由権の尊重」を基本理念に置き、自立と本人の望む生活を支援することに力を入れて取り組んでいます。家庭菜園のある広い庭での趣味の園芸、日だまりの縁側での楽しいおしゃべり、笛が滝公園の散策等、住み慣れた地域の中で、支え合う職員と共に自由に楽しく自分らしく暮らしています。

有限会社　介護支援サービス　しろもと
〒791－1201　上浮穴郡久万高原町久万1394－3
電　話：0892－21－0547
ＦＡＸ：0892－21－0547

⑨　里の家（松山市）　3ユニット27名

里の家は閑静な住宅地の中に広大な敷地を持ち、老人保健施設と併設されているグループホームです。毎月、季節に合った行事や広い敷地を利用して、バーベキュー・いもたきなども楽しんで頂いております。特に夏祭りや文化祭などは、地域の方々との交流の場となっています。又、併設の老人保健施設の看護師の協力を得て、24時間体制で入居者様の健康をサポートさせて頂いています。

医療法人　河原医院
〒791－1106　松山市今在家３丁目９－29
電　話：089－905－8188
ＦＡＸ：089－956－0811

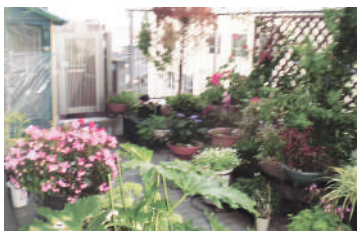
⑩　とみひさ（松山市）　1ユニット9名

ゆっくり、のんびり、心穏やかに生活して頂けるように、一日一日を大切に支援しています。美味しいと思える食事の提供、最期まで口から食べられる工夫をしています。笑い声が絶えないホームです。みなさん、遊びに来て下さいね。

有限会社　山﨑介護センター
〒791－8034　松山市富久町95－５
電　話：089－973－3372
ＦＡＸ：089－973－3372

⑪　おてだま（新居浜市）　3ユニット27名

グループホーム「おてだま」は、新居浜市の中心部商店街の中にあり、ビルの４階に位置しています。開設して６年目になり、ベランダのプランターには、入居者さんと育てた花や野菜があふれています。また、地域の文化祭・運動会への参加、児童センターの子供達との交流など「開かれたグループホーム」となる様努めています。これからも入居者一人ひとりの生活を大切にして、楽しく生き生きと過ごせるホームでありたいです。



社会福祉法人　はぴねす福祉会
〒792－0017
新居浜市若水町１－９－13
電　話：0897－31－5000
ＦＡＸ：0897－31－5005

⑫　ぐるうぷほうむ54番地（松山市）　2ユニット18名

松山市と東温市の境にぐるうぷほうむ54番地はあります。周りを池や畑に囲まれた閑静な住宅街にあり、ホームには庭や畑があるなど、四季折々の自然を感じることができます。また、ホームの向かいにある神社への参拝や散歩がお年寄りたちの日課となっております。そこで行われる夏と秋の地方祭は、地域の方々との交流の機会にさせてもらっています。これからも、ホームのお年寄りたちが地域の中で当たり前に暮らしていけるように支援していきたいと考えています。

有限会社　スローライフ
〒791－0244　松山市水泥町54番地
電　話：089－976－5771
ＦＡＸ：089－976－5771

⑬　桜（新居浜市）　2ユニット18名

当ホームは、新居浜市内を一望する緑あふれる場所にあり、澄んだ空気と素晴らしい日当たりが自慢です。また、老健施設にも併設し、協力病院による24時間体制の医療連携で皆さんから安心のお声を頂戴しており、『少しでも以前のご自分を取り戻していただけるように』という理念のもと、誠心誠意支援致しております。

〒792－0856
新居浜市船木甲3656番地８
電　話：0897－41－2882
ＦＡＸ：0897－41－1066

⑭　わかば（松山市）　2ユニット18名

三津地区に所在し、生活環境が良く住みやすい地域にあります。グループホーム内は、明るく家庭的な雰囲気を保つように、職員一同こころがけています。協力医療機関が隣接しており、24時間いつでもすぐに連絡ができ、緊急時にも早期の対応が可能です。他、地域の行事や隣接のデイサービスで季節に応じて行われる、夏の夕涼み会・もちつき等の合同行事も実施しております。見学・入居相談等、随時可能ですので、お気軽にご連絡下さい。

有限会社　メディケアサポート
〒791－8053　松山市若葉町７－６
電　話：089－968－3530
ＦＡＸ：089－968－3731

⑮　土香里（伊予市）　2ユニット18名

温かい地域と、四季折々の自然、優しい利用者の方々、そのご家族、まだまだ未熟ながらも土香里のなくてはならないスタッフ、他関係者の方々に囲まれ、「グループホーム・土香里」は無事4周年を迎えることができました。この地に、もっともっと根を張り、心が満腹になるような実をつけれるよう、職員一同ベクトルを合わせ、楽しく頑張っていきます。

有限会社　土香里
〒799－3131　伊予市大平字片山甲225－1
電　話：089－983－6080
ＦＡＸ：089－983－6081

⑯　むく（松山市）　2ユニット18名

グループホームむくは、とべ動物園の南東に位置し田畑に囲まれた自然たっぷりの環境にあります。散歩をすれば農作業を行うご近所の方との触れ合いが多くあり、ご利用者さんが作ったコロッケなどをお裾分けすると両手いっぱいのお野菜を頂いて帰ることも珍しくありません。自然の中で人と人との繋がりや思いやりを大切に笑顔いっぱいで毎日を過ごされています。

〒791－0035　松山市西野町434－1
電　話：089－960－8330
ＦＡＸ：089－960－8331

⑰　鶴翠（西条市）　2ユニット18名

グループホーム鶴翠は平成16年8月4日開設、今年で5年目を迎えました。周囲を見渡すと山々が連なり、南へ少し行くと海が広がる自然豊かな環境にあります。入居者の方々にとってスタッフは家族の一員であると考え、気持ちに寄り添う支援を続けています。入居者の方同士のいたわりの言葉や優しさに触れる度、グループホーム鶴翠の「ゆったり穏やかに」を感じ、毎日笑顔で生活を送っています。

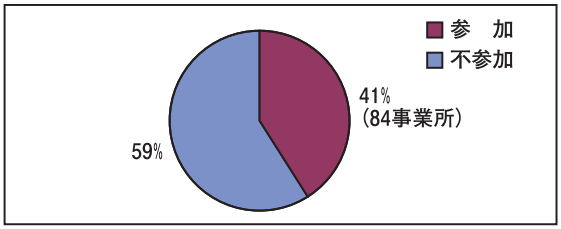
社会福祉法人　亀天会
〒799－1312　西条市大野284－2
電　話：0898－66－0288
ＦＡＸ：0898－66－0298

平成20年度相互研修の報告

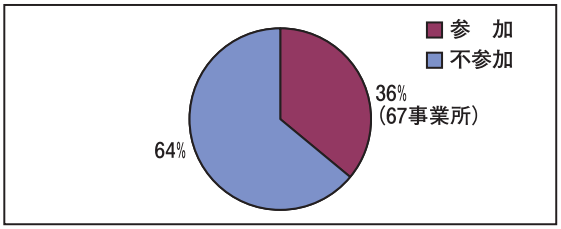
相互研修は、グループホーム間で相互に訪問し合い、ホームの様子やケアの取り組みなど互いに学び気づきあう研修です。自ホームのケアの質向上を図るために、他ホームの良い取り組みを学び、自ホームを改めて振り返り考える機会にもなり、とても役立つと毎年参加ホームが増えてきています。

今年度の参加事業所数は、前年度の1.25倍の84事業所で、会員事業所数の約41%でした。研修終了後アンケート調査を行いましたが、皆様から出していただいたご意見やご感想をもとに、今年度の当該研修の問題点や課題を整理し、来年度さらにレベルアップした研修が行えるよう取り組んでいきたいと考えています。（相互研修委員会）

平成20年度参加状況

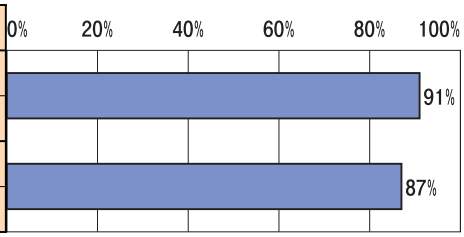


平成19年度参加状況

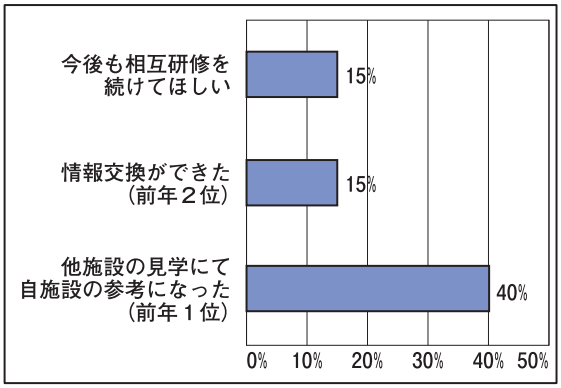


▼研修を行って、どう思われましたか？

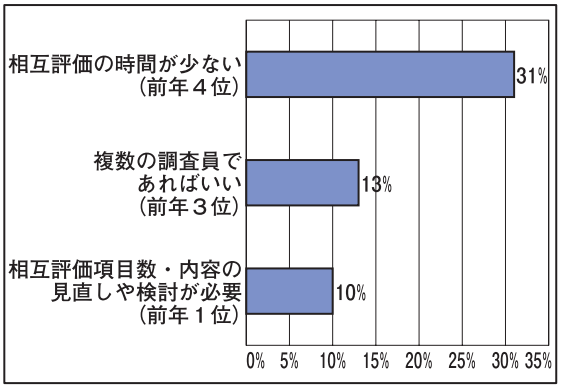
	悪かった ← 普		通 → 良かった		
研修生の立場として	0	1	7	23	76
	(0%)	(1%)	(6%)	(20%)	(71%)
研修を受け入れた立場として	0	1	13	25	68
	(0%)	(1%)	(12%)	(23%)	(64%)



▼相互研修全体で良かった点（複数回答）



▼相互研修全体に関する取り組み課題（複数回答）



編　集　後　記

今回の特集では、第５回四国フォーラムの開催内容と相互研修について取り上げました。特別講演は「認知症になっても大丈夫な街を作ろう」という大牟田市の取り組みの報告をしていただきました。この取り組みはグループホームから始まったもので私達グループホーム関係者として今後の取り組みの参考になればと思います。

また、今一度、認知症の人の病気がもたらす障害を理解し、生活支援のしっかりできるグループホームが増えていくことを願っています。（広報委員会）